

『当院における呼気一酸化窒素 (FeNO) 測定の季節性変動の検討』

に關係する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『当院における呼気一酸化窒素 (FeNO) 測定の季節性変動の検討』という調査、研究を行っています。呼気一酸化窒素 (FeNO) 測定は、気道上皮の好酸球性の炎症を反映する簡便で非侵襲的な検査です。喘息の病状評価や治療効果の判定に用いられています。しかし、さまざまな因子により、値が変動することが知られており、その一つに季節の変動があります。自施設での FeNO 測定の季節性変動について調べることで、より精度よく呼気一酸化窒素 (FeNO) 測定を行い、喘息疾患における診断・治療の向上につなげることが目的です。

<調査の対象となる患者さま>

2015年4月1日から2019年03月31日までの間に近畿中央呼吸器センターで呼気一酸化窒素 (FeNO) 測定を行った患者様を対象といたします。

<調査方法>

具体的には、診療目的で作成されたカルテ上の診療情報を用いて検討を行い、統計学的に解析を行います。

本研究により新たに検体採取や費用など何かをお願いすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者様を特定できる情報が外に出ることは決してありません。

\*この臨床研究に関してご不明な点がある場合、もしくは研究にカルテ情報を利用することにご了解いただけない場合は以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。尚、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床検査科・病理診断科

笠井 孝彦

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は近畿中央呼吸器センター臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認を受けて実施しています。